

# お役立ち情報

～鹿児島県農業で活用いただきたい新品种・新技術～

## 全国に誇れる期待の中晩柑類

### 背景

「大将季」はブランド品目を目指す鹿児島県オリジナル品種であり、高糖度生産技術の構築を目指している

### 技術ポイント

「大将季」は、適期土壌水分管理により食味が向上

### 特性

- ◆「不知火」より果皮・果肉の橙色が濃い
- ◆加温栽培により、年内に出荷可能
- ◆ウイロイドフリー樹により連年安定生産が可能



橙色の濃い「大将季」(写真右)果実  
※写真左は「不知火」

### 背景

タンカンで問題となっている冬季の異常落葉を解決するためトロイヤーシトレンジ台の特性を明らかにした

### 技術ポイント

タンカンは、新たな台木で異常落葉が軽減し収量が安定

### 特性

- ◆冬季の異常落葉が軽減し樹勢安定
- ◆隔年結果の振幅が小さく収量が安定
- ◆果実品質(糖・酸)はカラタチ台と同等



カラタチ台

トロイヤーシトレンジ台

## 今話題の中晩柑類

### 背景

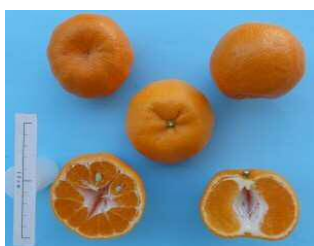
秋季の高温等による着色遅れが課題となる中、着色が早く、年内出荷が可能な早生ポンカンを育成した

### 技術ポイント

ガンマ線を照射した「太田ポンカン」の種子から珠心胚実生を育成し、着色の早い「KP-2」を育成

### 特性

- ◆樹勢は中～やや強、樹姿はやや直立、隔年結果性は低い
- ◆着色は「太田ポンカン」より早い
- ◆果実重は190g程度、果形は扁球形、糖度は10.5度、クエン酸は0.7%程度、す上がりの発生は少ない



着色の早いポンカン「KP-2」

### 背景

「津之輝」の年内出荷を目指した無加温ハウスにおける特性を明らかにした

### 技術ポイント

「津之輝」は無加温ハウスにより、本土でも年内出荷が可能

### 特性

- ◆開花盛期は4月上旬、収穫期は12月上旬
- ◆果実の中心階級は2L～3L
- ◆糖度は10～12度、クエン酸は0.7～1.0%
- ◆奄美では露地で年内出荷が可能



年内出荷が可能な「津之輝」



# 温暖化に対応した落葉果樹の新技術

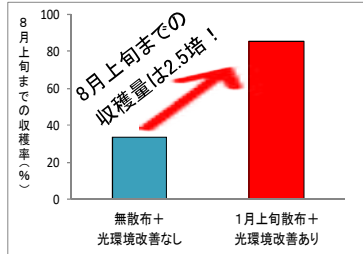
## 背景

「クイーンニーナ」の着色向上対策として、休眠打破剤の利用と光環境改善による収穫期前進化を図った

## 技術ポイント

- ◆ シアミド液剤20倍液を1月上旬に散布することで、発芽が約12日、開花が約6日、収穫が約4日早まる
- ◆ ① 遮光率の低い果実袋の使用で、収穫は約2日早まる  
② 光が当たるよう着房節の摘葉等を行うと、収穫は約3日早まる

休眠打破剤＋光環境改善により色票値4になり、8月上旬までの収穫率が高まる

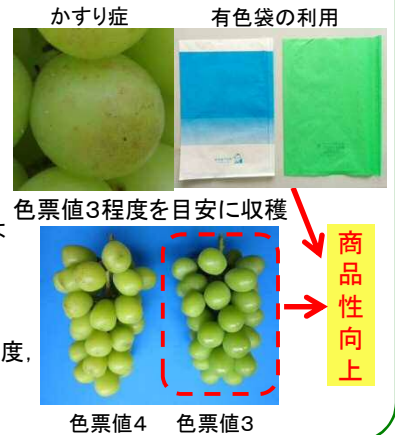


## 背景

「シャインマスカット」は、果実の成熟に伴い果皮が黄化しやすく、かすり症が発生しやすいため、有色果実袋の効果を検討した

## 技術ポイント

- ◆ 有色袋では慣行袋(白色)に比べ色票値が低く、緑黄色の濃い果房となり、果皮の黄化が軽減
- ◆ かすり症の発生割合は有色袋では慣行袋に比べて低い
- ◆ 有色袋と慣行袋で、糖度、酸度には差はない



# 注目のブランド品目マンゴー

## 背景

マンゴーの無胚果発生率の要因について、開花期の温湿度管理を検討した

## 技術ポイント

- ◆ 開花期に、昼間のハウス内温度が30℃以上、湿度90%以上の高温高湿度に数回遭遇する高めの条件下では、無胚果の発生が9割以上と多い
- ◆ 開花期に、昼間のハウス内湿度が95%以上では、花粉の開粉率は低い

表 開花期の温湿度管理の違いが無胚果の発生に及ぼす影響 (2016年)

区名	調査日	無胚果率 (%)
低温区	5/11	42
低温高湿度区	5/17	96
高湿度区	5/9	98
対照区	5/2	6



## 背景

燃油コスト削減、炭酸ガス排出抑制が求められ、本県に豊富な薪を利用する、安価で自作可能な温水ボイラーを開発した

## 技術ポイント

- ◆ 本体材料費約5万円、自作、鉄工所等への依頼可能  
別途に送水ポンプ、放熱管等が必要
- ◆ 本体の大きさは、幅85cm、高さ92cm、奥行き117cm  
薪を1回最大70kg燃焼可能  
10℃設定でおおむね5aのハウスに対応
- ◆ A重油削減率は90%  
薪1kgが、A重油0.455Lに相当し、燃焼効率が高い



# 温暖な気候を生かした「攻め」のトロピカルフルーツ

## 背景

- マンゴー、パッションフルーツに続く、温暖な気候を生かしたトロピカルフルーツを探索
- ハウス栽培・露地栽培で、品目・品種の特性を検討中



## 技術ポイント

アテモヤ：少加温栽培で生産可能

## 特性

ピンクスマンモス・アフリカンプライドは、高収量、果実重大



## 技術ポイント

スターフルーツ：少加温栽培で年間2回収穫可能

## 特性

カリィ・カイラは、糖度10～12度、食味良好



## 技術ポイント

野菜用パパイア：県本土では雨除け、大島では露地栽培

## 特性

石垣珊瑚、レッドレディー等、野菜用パパイアの高収量期待

【お問い合わせ先】

農業開発総合センター企画調整部 (TEL 099-245-1119)・果樹部 (TEL 099-245-1138)・大島支場 (TEL 0997-52-3545)・生産環境部 (TEL 099-245-1155)